

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-111624(P2002-111624A)

【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)

【出願番号】特願2000-303092(P2000-303092)

【国際特許分類】

H 04 J	11/00	(2006.01)
H 03 H	21/00	(2006.01)
H 04 B	3/04	(2006.01)
H 04 H	20/00	(2008.01)

【F I】

H 04 J	11/00	Z
H 03 H	21/00	
H 04 B	3/04	A
H 04 H	1/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

F F T回路より前段に受信O F D M信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、前記F F T回路より後段において抽出したパイロット信号をI F F T処理した信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号をI F F T処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするO F D M信号受信装置。

【請求項2】

F F T回路より前段に受信O F D M信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、該フィルタから出力される信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号をI F F T処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするO F D M信号受信装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明O F D M信号受信装置は、F F T回路より前段に受信O F D M信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、前記F F T回路より後段において抽出したパイロット信号をI F F T処理した信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイロット信号をI F F T処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、FFT回路より前段に受信OFDM信号の波形を適応的に波形等化するフィルタを具え、該フィルタから出力される信号と、予め受信装置内に記憶されている送信パイラット信号をIFFT処理した信号との差分信号によって、当該差分信号が最小となるように前記フィルタのタップ係数を制御するようにしたことを特徴とするものである。